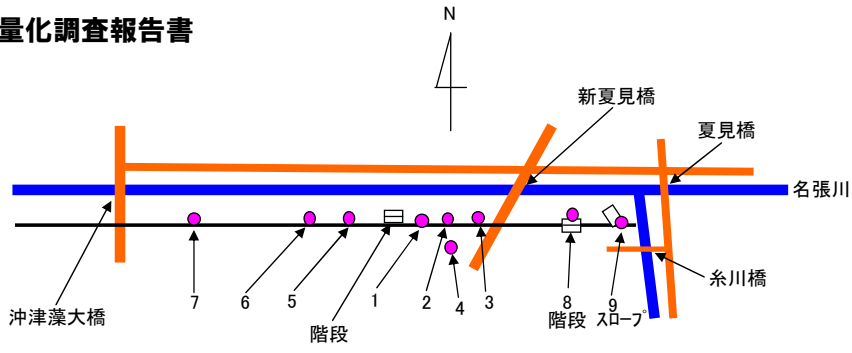


活動No	H23-①	実施河川レンジャー	溝延河川レンジャー
活動名	名張川護岸遊歩道の植生環境調査と除草作業の軽減化試行 (個人活動)		
実施日	平成23年8月26日(金) 13:00～16:00 平成23年9月28日(水) 13:00～16:00		
実施場所	名張川河川敷 (糸川橋～沖津藻大橋)		
活動目的	名張川の護岸遊歩道のコンクリート接合部にヨシが繁茂しており、ヨシが捕捉した土壌の根元に菫、スギナ、タンポポ等の植物を植え付けヨシが大量に繁茂しないようにできないか調査・テストするとともに、クズの早期除草を行い、除草作業の軽減化が図れないか調査・テストする。		
参加者	個人活動のため、参加者なし。		
活動内容	<p>①護岸継目のヨシ生育防止減量テスト (8月26日)</p> <p>コンクリート護岸の継目にヨシが繁茂し、遊歩道の歩行障害となっているので、背丈の低い植物に置き換えて、草刈作業の省力化ができないかテストするとともに、遊歩道で身近な植物で花壇化し、川に親しみやすい環境とした。</p> <hr/> <p>②護岸の葛生育の減量化テスト (9月28日)</p> <p>護岸上部に葛が繁茂し、遊歩道まで覆う状態になっている部分があったが、葛のツルを根元より除去することにより、葛の生育減量化できないかテストし、除草作業の軽減化に繋げるとともに、川に親しみやすい環境とした。</p> <hr/> <p>③河川内遊歩道の環境改善</p> <p>上記①、②のテストにより、河川内の遊歩道の歩行環境の改善を行った。</p>		
講師	なし		
感想考察	<p>①今回の調査は、ヨシの繁茂している状況を観察し、ヨシが生えにくい状況(雨水による水分の補給を減少させることにより、ヨシの生育を防止でき、刈り取り作業の省略化の可能性)を調査するものである。また、葛については、根元の除去により、繁茂量の削減を図ることができないか調査。</p> <p>②調査として、護岸接合部の繁茂しているヨシを一旦根元より除去した後、中間部に石積み枠をつくり、その中に川の土を満たし、そこに背丈の低い植物を植え付けて、接合部の後半部に前半部の水分が補給されないようにした。</p> <p>③②の対策を実施することにより、ヨシの生育の削減を図れた箇所があったが、8月の大雨時の川の水流により、護岸の対策実施部が水没し、対策した石積み・植生が流されてしまったので、効果の確認が十分に行なえなかった。花壇化では、彼岸華の着生がうまくいった箇所があった。葛については、根元の除去を実施した場合でも、繁茂力が強く(ランナーが四方に伸びて根が大量に発生するので、削減は大変困難である。)</p> <p>④上記作業で、遊歩道の環境をよくするために、護岸接合部中間部に小さな花壇をつくり、接合部下部に水分の補給がされないように工夫することにより、ヨシの生育が削減されるものと判断される。葛については、引き続き根っこの除去で生育の削減可能性を探る必要があると考える。(報告書参照)</p>		

# 河岸植生減量化調査報告書

2011.10.7  
作成: 河川レンジャー 溝延克彦

## ① 調査箇所



## ② 地点別経過状況

地点	処置前状況(5月)	処置後状況(5月)	8月26日時点	9月28日時点(台風により遊歩道水没)
1	 ヨシが繁茂している	 ヨシを除去し、堰・花壇設置	 花壇の生育状況	 台風の増水で花壇が喪失
2	 雑草が繁茂	 雑草を除去し、堰・花壇設置	 花壇の生育状況	 台風の増水で花壇が喪失
3	 雑草が繁茂	 雑草を除去し、堰・花壇設置	 花壇の生育状況	 台風の増水にも拘わらず花壇維持
4	 調査地の葛繁茂状況 一部 葛除草	 調査地の葛つるを除草した	 除草したにも拘わらず 再繁茂	 一段と葛が繁茂 除草効果?
5	 ヨシの繁茂状況	 ヨシを除草	 除草した効果がでている	 除草した効果がでている
6	 ヨシの繁茂状況	 ヨシを除草	 除草した効果がでている	 除草した効果がでている

7



雑草が繁茂



雑草を除去



除草した効果がでている



除草した効果がでている

8



堤防上の植生状況



葛のツルを撤去(一部)



葛が繁茂している



繁茂している葛を除草

ランナー調査のため刈り取り処置実施

9



スロープの葛の生育状況



葛を土とともに撤去



土砂の撤去により、雑草が少量生育 除草の効果あり



土砂の撤去により、雑草が少量生育 除草の効果あり

### ③ 【 考察 】

1. 護岸接合部に水分が補給されることにより、ヨシの着生が容易化する。
2. ヨシの着生により、土砂が堆積し、更なるヨシの繁殖が進む。
3. 上記条件が維持されると、ヨシが繁茂する状態が継続するので、刈り取り作業が必要となる。
4. ヨシ、葛はランナーが縦横に展開し、繁殖力が旺盛である。

ヨシランナー



葛ランナー



### 【 対策 】

1. 護岸接合部に水分の補給量が削減されるよう接合部中間部に堰をつくり、雨水の堤上の流れ方を改善する。  
上記、3地点の処置が良い例(タンポポ、スマレ、ヒガンバナの植生により、遊歩道に潤いがもたらされる。)
2. ヨシが着生した場合、根より抜き取る・・・9地点の事例参照。
3. 葛は縦横に展開して繁茂するので、冬季に雨後地面の軟らかい時根より抜き取り易いが、作業量大である。  
ランナーの茎中間部より新たな根が張り着生するので、こまめに根を除去することが必要。